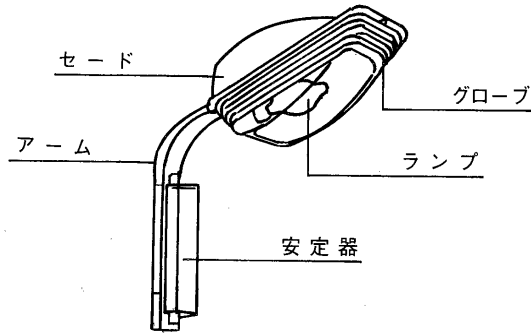


東芝水銀防犯灯取扱説明書

HB-0448H/HB-0848H/HB-1048H

このたびは東芝水銀防犯灯をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

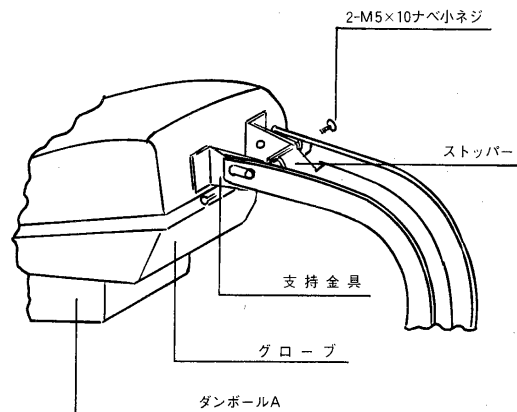
各部のなまえ



形 名	ラ ン プ
HB-0448H	H F 40X
HB-0848H	H F 80X
HB-1048H	H F 100X

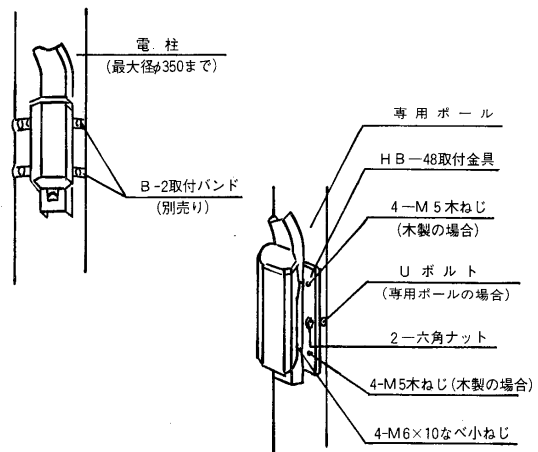
器具の組立

器具をダンボール箱から、取り出します。右図のように、ストッパーに、支持金具がはまるように取り付けてください。取付けは、2ヶのM5固定ネジ（付属しています）で行います。ダンボールAは、組立が終わるまで、(M5固定ネジ2本を締め終るまで)、そのまま、本体にはめ込んだ状態にしてください。万一、本体を落下させたときグローブの保護となります。組立が終わったら必ず取り外してください。



器具の取り付けかた

- (1) コンクリート柱に取り付ける場合
アームにある4個の角穴を使用して、右図のように取付バンド(B-2)を角穴に通して、取り付けてください。
- (2) 鋼管ポール(50A)に取り付ける場合
図4のように、Uボルト取付金具(HB-48)の中央の穴にUボルトを通し、ナットでしっかりと締め付けてください。次に固定したUボルト取付金具(HB-48)にアームをさし込み4つのネジで固定します。HB-48は別にお買い求め願います。
- (3) 壁面に取り付ける場合
壁面に取り付ける場合は、Uボルト取付金具(HB-48)の4つの穴(φ6)を利用し、木ネジ4本で、取り付けて下さい。
- (4) 器具の取り付けが終了したら、電源線とアース線を接続してください。



お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の工事は法で禁じられています。

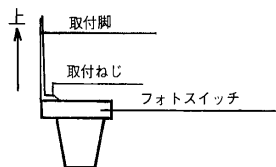
工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

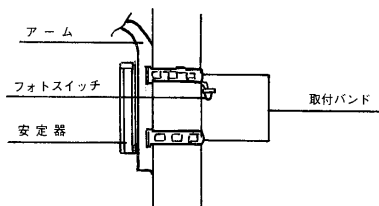
自動点滅器の取り付けかた

〈自動点滅器別売りの場合〉

- 自動点滅器は東芝フォトスイッチ〈OS-1033〉を別途お求めのうえ、ご使用ください。
フォトスイッチを取り付ける向きや結線などにつきましては、フォトスイッチの取扱説明書をよくお読みください。
- 防犯灯の光が直接入らない位置を選んでフォトスイッチを取り付けてください。
- 専用ポールまたは電柱がコンクリート製の場合
- 器具を固定する取付バンドにフォトスイッチの取付脚をはさみ込んで取り付けてください。
- ※フォトスイッチの取付方向に注意してください。

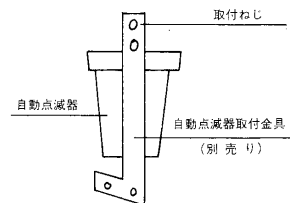
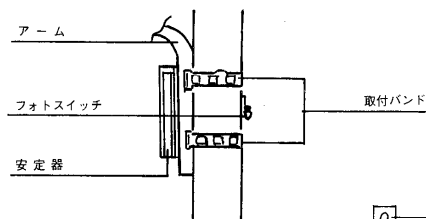
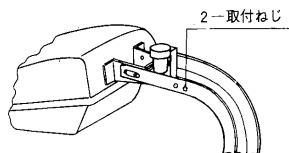


- 専用ポールまたは電柱が木製の場合
- 器具を取付バンドで取り付けるときはフォトスイッチの取付脚を取付バンドに、はさみ込んで取り付けてください。
- フォトスイッチを木ねじで取り付けるときは、フォトスイッチに付属の木ねじで取り付けてください。
- ※フォトスイッチの取付方向に注意してください。



●器具に取付ける場合

- ①アームに自動点滅器の取付金具(別売り)を取付ねじで取り付けてください。



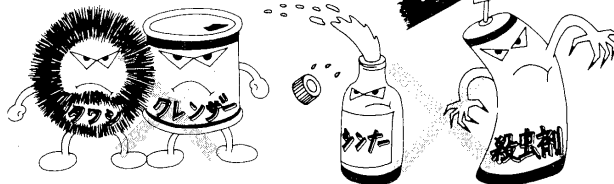
特にご注意を

- 器具には、電源周波数が50ヘルツ(Hz)用と60ヘルツ(Hz)用の区別がありますので、地域の周波数に合った器具をお選びください。まちがえてご使用になりますと、ランプ寿命が短くなったり、過熱して焼損などのものになります。
- 器具の改造や、ランプ以外の部品の交換は、おやめください。性能が十分発揮できないばかりか大変危険です。
- 必ずアースを取り付けてください。アースは法により第3種接地工事が心要です。



お手入れのしかた

- 器具のお手入れは、必ず電源を切ってから行ってください。
- 器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。



- 器具は、ぬるま湯または、石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。